

# 平成24年度文化芸術振興基本方針に基づく施策実施状況

平成25年(2013年) 11月

豊中市

## 目次

	ページ
I. 発行の趣旨	3
II. 前年度との変更点	3
III. 文化芸術振興基本方針について	4
IV. 文化芸術推進プランについて	6
V. 文化芸術振興基本方針の主な取り組み、成果と今後に向けての方向性	8
VI. 文化芸術推進プランの主な取り組み、成果と今後に向けての方向性	11
1. 文化芸術活動を担う人材の育成	11
2. 大学のあるまちとよなかの推進	13
3. 音楽あふれるまちとよなかの推進	15
4. 協働の仕組みづくりの推進	17
5. 文化芸術にかかる地域資源の活用・発信	19
VII. 平成24年度文化芸術振興基本方針施策別の取り組み	21
(1) 協働の仕組みづくりと場の整備	21
(2) 鑑賞、参加、創造の場及び機会の充実	23
(3) 子ども、高齢者、障害者などの文化芸術活動の充実	25

(4) 文化芸術活動を担う人材の育成	27
(5) 歴史的文化遺産の保存等	29
(6) 文化芸術に関する交流の推進	30
(7) 文化芸術に関する情報の収集及び発信等	31
(8) 顕彰	32

## I. 発行の趣旨

文化芸術振興基本方針(平成 20 年策定)及び基本方針に位置づけられた文化芸術推進プラン(平成 24 年策定)に基づく平成 24 年度の施策実施状況を把握し今後の施策展開の参考とするため、**施策毎の主な取り組み、成果と今後に向けての方向性の検証**を行い、報告書を発行するものです。

## II. 前年度との変更点

### (1) 統合型データベースの活用

平成 24 年度実施状況調査では、個別事業は平成 24 年度に稼動した統合型データベースから抽出しました。

ただし、個別事業の内容と指標は、文化芸術振興基本方針及び文化芸術推進プランの進捗状況調査のために記載したものではありませんため、文化芸術振興との関わりが必ずしも明確になっていない場合があります。

そのため、施策の主な取り組み、成果と今後に向けての方向性、の中に補完する形で記述しています。

### (2) 文化芸術推進プランに基づく取り組み、成果、課題の掲出

平成 24 年度から開始した文化芸術推進プランに基づく事業の取り組み状況、成果と課題を新たに掲出しました。

それに伴い、基本方針についての主な取り組み、成果と今後に向けての方向性は、基本方針全体からの記述にとどめています。

### Ⅲ. 文化芸術振興基本方針について(文化芸術振興基本方針から抜粋)

#### (1) 基本方針策定の趣旨

豊中市文化芸術振興基本方針(以下「基本方針」という。)は、豊中市文化芸術振興条例(平成18年豊中市条例第26号。平成18年3月31日公布。4月1日施行。以下「条例」という。)第5条第1項の規定に基づき、**文化芸術の振興に関する基本的な考え方及び総合的に展開すべき施策の方向性を示すため策定するものです。**

#### (2) 基本方針の位置づけ

この基本方針は、第3次豊中市総合計画第1章「人と文化を育む創造性あふれるまちをめざして」第2節「共に学ぶ心豊かなまちづくり」③「**市民文化の創造を支えるしくみづくり**」に位置づけられる**文化芸術振興に関する基本方針**です。

平成6年3月に策定した豊中市文化振興ビジョン(以下「文化振興ビジョン」という。)との関係については、基本方針はビジョンの3本柱である「市民文化の活性化」「都市文化の創造」「行政の文化化の推進」のうち、「市民文化の活性化」の更なる推進をめざすものとします。

#### (3) 基本方針の計画期間

基本方針の計画期間は、平成20年度から第3次総合計画が終了する**平成32年度まで**とします。

なお、本市の文化芸術振興を取り巻く状況の変化を踏まえ、策定から6年を目途に基本方針の見直しを行うものとします。

## (4) 基本方針の施策体系

〈基本理念〉	〈基本的施策〉	
(1) 自主性及び創造性の十分な尊重	(1) 協働の仕組みづくりと場の整備	②文化芸術の市民ネットワーク組織の設置 ④大学等の教育機関との連携
	①コラボレーション(協働)事業の推進 ③市民企画事業の支援	
(2) 文化芸術を鑑賞、参加、創造するための環境の整備	(2) 鑑賞、参加、創造の場及び機会の充実	②発表や鑑賞及び制作や練習の場の拡充
	①文化芸術の拠点施設の整備 ③既存施設の利便性の向上と多目的利用の促進	
(3) さまざまな協働による新しい豊中の文化芸術の創造	(3) 子ども、高齢者、障害者などの文化芸術活動の充実	
	①子どもの文化芸術活動の充実 ②高齢者や障害者等あらゆる人びとが活動の主体となる取り組みの支援	
(4) 過去からの文化芸術の継承と発展	(4) 文化芸術活動を担う人材の育成	②次世代の育成
	①文化ボランティアとの連携の推進	
	(5) 歴史的文化遺産の保存等	②まちの再発見
	①伝統芸能や文化財に親しむ機会の充実	
	(6) 文化芸術に関する交流の推進	②多文化共生をめざす交流の支援
	①市民交流の支援	
(5) 一人ひとりの多様な文化芸術及び価値観の理解と尊重	(7) 文化芸術に関する情報の収集及び発信等	②総合相談・コーディネート機能の充実
	①情報の受発信の充実	
	(8) 顕彰	
	①文化芸術の顕彰の充実	

#### Ⅳ. 文化芸術推進プランについて(文化芸術推進プランから抜粋)

##### ①策定趣旨

第3次総合計画が掲げる「市民文化の創造を支えるしくみづくり」及び基本方針の重点施策をより具体的かつ確実に推進するため、平成24年に「**豊中市文化芸術推進プラン**」を策定しました。

豊中市文化芸術推進プラン(以下「推進プラン」という)は、「事業者、大学、行政の連携」「地域の多様な活動主体の参画」「地域資源の活用」の3つの基本視点に基づき、市内各地域の文化芸術に関する地域資源を豊中市域全体から市外へ発信し、豊中の魅力づくりにつなげます。

##### ②文化芸術推進プランの展開戦略

推進プランは、平成27年度に予定されている(仮称)豊中市文化芸術センター(以下「文芸センター」という)の開設をめざし、平成24～26年度の間を、その準備期間として位置づけ、開設に向けた市民の気運を高めるため、人材育成も含めた市民参画事業を展開するとともに文化芸術活動の環境を整えていきます。平成27年度以降も、文芸センターにおける取り組みと地域への展開の充実を図ります。

そのため、市民、事業者、大学等の教育機関、文化芸術団体などと連携を深めながら、「大学のあるまち」「音楽あふれるまち」として市内外に発信し、本市の魅力づくりの一つとして取り組みを進めます。

また、市内各地域や施設で展開されている市民主体のさまざまな文化芸術活動を支援するため、情報の受発信や支援制度の充実、文化芸術の発表や練習場所の確保、文芸センターを中核とした地域展開などの取り組みを進めます。

さらに、庁内の関係部局、市民、事業者、大学等の教育機関などと連携しながら公開討論会(フォーラム)やウォークラリーなど、文化芸術にかかる地域資源の活用と発信の取り組みや、姉妹都市米国サンマテオ市・兄弟都市沖縄市など本市と縁のある都市との文化芸術に関する交流を進めます。

もって基本方針が掲げる「人と文化を育む創造性あふれるまち豊中」の実現を図ります。

### ③推進プログラム（詳細は「Ⅴ.平成24年度の文化芸術基本方針の取り組み、成果と方向性」に記載）

- 1)文化芸術活動を担う人材の育成
- 2)大学のあるまちとよなかの推進
- 3)音楽あふれるまちとよなかの推進
- 4)協働のしくみづくりの推進
- 5)文化芸術にかかる地域資源の活用・発信

### ④推進プランの具体化にあたって

#### 1)推進体制

推進プランの具体化にあたっては、幅広い市民・事業者との参画と協働のもと、大阪大学・大阪音楽大学をはじめとする教育機関や文化芸術団体などとも連携しながら取り組むこととします。

また、国等のさまざまな助成制度をできるだけ活用するなど財源の確保に努めながら、市長をトップとする文化行政推進会議・連絡会議を中心とした全庁的な推進体制で取り組みます。

#### 2)評価と進行管理

推進プランの評価と進行管理については、基本方針の進捗把握及び評価を行う中で実施することとします。

評価にあたっては、統合型データベースを活用し、庁内の文化行政推進会議・連絡会議及び文化芸術振興審議会の意見を聴きながら、効率的・効果的に実施・公表します。

また、事業の進捗状況や評価結果を踏まえ、実施主体の変更や既存事業の整理・統合など従前の枠組みにとらわれない大胆な見直しも行い、事業の相乗効果や波及効果が高まるよう取り組みを進めることとします。

## V. 文化芸術振興基本方針の主な取り組み、成果と今後に向けての方向性

主な取り組み	成果	今後に向けての方向性
<p><b>【全体的事項】</b></p> <p>市内の大阪大学、大阪音楽大学と、開設に向けた取り組みを進めている文芸センターを市の地域資源の中核としつつ、豊中の文化芸術に関する地域資源を豊中市域全体から市外へ発信し、豊中の魅力づくりにつなげることをめざし、平成 24 年度から「文化芸術推進プランの推進」事業を開始しました。</p>		
<p><b>【協働の仕組みづくりと場の整備】</b></p> <p>文化芸術の拠点施設の整備として、本市における文化芸術の発表や鑑賞の拠点施設となる文芸センターの基本設計及び実施設計を終了しました。</p> <p>市民企画事業の支援としては、「市民ホール自主文化事業」の支援制度「夢ステージとよなか」事業で、平成 23 年度に採択された 3 事業を実施するとともに、平成 25 年度実施予定の 1 事業を採択しました。</p> <p>また、千里地域連携センターにおける</p>	<p>当初のスケジュールどおり文芸センター開設に向けた取り組みを進めることができました。</p>	<p>文芸センターの開設に向け、管理運営計画を策定する中で管理運営体制、展開すべき事業の検討を進めると共にコーディネート機能のあり方についても検討を行う必要があります。</p> <p>文化芸術活動の支援制度「夢ステージとよなか」については、申し込みが平成 23 年度が申し込み 4 件で採択 3 件、平成 24 年度が申し込み及び採択共に 1 件にとどまっているため、市内の他分野の支援制度や他自治体の制度の事例や実</p>

主な取り組み	成果	今後に向けての方向性
<p>コラボ事業等の取り組みや、市民公益活動団体の運営支援及び市民公益活動推進助成金制度、協働事業市民提案制度の運用を行いました。</p>		<p>績も見て、課題を洗い出し、見直しを検討していく必要があります。また、協働の推進や事業支援につながる各制度の啓発に努めます。</p>
<p><b>【鑑賞、参加、創造の場及び機会の充実】</b>  (コラボレーション(協働)事業の推進)  「文化芸術推進プランの推進」事業として「大阪大学総合学術博物館企画展『巨大ワニと恐竜の世界』展」の共催を行うと共に「音楽あふれるまちとよなか」の具体化を図る「とよなか音楽月間事業」等の取り組みを行いました。</p> <p>また、「魅力創造事業」としては、日本センチュリー交響楽団と「音楽あふれるまちの推進に関する協定」を締結し、アクア文化ホールや伝統芸能館等の公共施設の他、市内の教会や寺院、歴史的建造物などを会場に「豊中まちなかクラシック」を開催しました。</p>	<p>大学の得意分野を活かした共催・連携事業を実施することにより、市民の文化芸術の発表や鑑賞等への参画機会と、市内の大学を身近に感じていただける場を充実することができました。</p> <p>新たな展開として、とよなか音楽月間の設定や日本センチュリー交響楽団との共催事業「豊中まちなかクラシック」を実施したことにより、鑑賞、参加、創造の場と機会の充実を図るとともに「音楽あふれるまちとよなか」を市民に実感していただくことができました。</p>	<p>大学連携については、本市の地域資源である市内の大阪大学及び大阪音楽大学との連携を継続し、大学の知的集積や得意分野を活かした事業を展開することにより、鑑賞、参加、創造の場及び機会の充実に努める必要があります。</p> <p>また、文芸センターの市民参画事業の土台づくりとして「文化芸術企画制作講座」を継続し、ボランティアのネットワークの充実を図る必要があります。</p>
<p><b>【文化芸術活動を担う人材の育成】</b>  (次世代の育成)  「文化芸術推進プランの推進」事業として大阪大学の協力により開講した「文化芸術ボランティア養成講座」を実施し</p>		

主な取り組み	成果	今後に向けての方向性
<p>た他、「とよなか音楽月間事業」の中で大阪音楽大学の協力のもと「吹奏楽ワークショップ」を実施しました。</p> <p>「魅力創造事業」としては、市内高等学校の軽音楽部等が競演する「高校生軽音楽フェスティバル」を初めて開催しました。</p>		
<p><b>【歴史的文化遺産の保存等】</b> (まちの再発見)</p> <p>「文化芸術ボランティア養成講座」受講生が、豊中の歴史やゆかりの小説、人物に題材を得た創作講談とコンサートからなる「音楽絵巻『豊中愛伝説』」の企画運営に参画し、ローズ文化ホールで公演を実施しました。</p> <p>「魅力創造事業」としては、「るるぶ豊中」の編集協力等の取り組みを行いました。</p>	<p>本市における地域資源の活用・発信がさまざまな部局で取り込まれることにより、市民に豊中の地域資源を認識していただくことができました。</p>	<p>本市の魅力発信や市民のふるさと意識醸成につながるよう歴史的建造物を活用したイベントやまち歩き等の取り組みを文化芸術のみならずさまざまな分野から展開していく必要があります。</p>
<p><b>【文化芸術に関する情報の収集及び発信等】</b>(情報の受発信の充実)</p> <p>「文化芸術推進プランの推進」事業の「とよなか音楽月間」を周知するため、統一リーフレット及びポスターを発行配布しました。</p>	<p>「音楽あふれるまちとよなか」を市民に周知することができました。</p>	<p>周知活動の中で特徴的な事業を大きく取り上げるなど、内容に強弱をつけて情報発信の訴求力を高める必要があります。</p>

## VI. 文化芸術推進プランの主な取り組み、成果と今後に向けての方向性

### 1. 文化芸術活動を担う人材の育成

#### ①趣旨

基本方針の重点項目である「文化芸術活動を担う人材の育成」のうち「文化ボランティアとの連携の推進」及び「次世代の育成」を具体化するため、市民の文化芸術活動を支援したり、専門家と共に事業を企画・制作したりすることができる人材を養成する「文化芸術ボランティア養成講座（平成 25 年度から「文化芸術企画制作講座」と名称変更）」を大学などとの連携のもと開講します。

事業の企画・制作について豊富な経験や専門技術をもつ市民の参画を促進します。

②主な取り組み	③成果	④今後に向けての方向性
<p>市民の文化芸術活動を支援したり、専門家と共に事業を企画・制作することができる人材を養成するため、大阪大学の協力のもと「文化芸術ボランティア養成講座」を実施しました。</p> <p>また、同講座受講生が、豊中の歴史やゆかりの小説、人物に題材を得た創作講談とコンサートからなる「音楽絵巻『豊中愛伝説』」の企画運営に参画し、ローズ文化ホールで公演を実施しました。</p> <p>人材育成の取り組みとしては、文化芸術活動に携わる人びとのすそ野を広げるため、「とよなか音楽月間事業」の中で大阪音楽大学の協力のもと「吹奏楽ワークショップ」を実施しました。</p>	<p>文化芸術ボランティア養成講座を実施し、学習と経験の場と機会を提供することと、主体的に事業の企画運営に取り組む意志を持つ市民のニーズに応えることができました。</p> <p>講座終了後には参加者から協働事業への参画意向があり、文芸センターにおける市民参画事業の展開に一定の目途をつけることができました。</p> <p>また、本市における文化芸術活動の担い手の育成につなげることができました。</p>	<p>「文化芸術企画制作講座」を継続するとともに、受け皿となる事業を展開する中で、ボランティア間のネットワーク拡大を図る必要があります。</p> <p>吹奏楽ワークショップのような人材育成事業の充実を図る他、本市における次世代の文化芸術の担い手を育成する観点から、中学生や高校生、大学生等が主役となる事業や事業の企画運営に参画できるような取り組みを検討する必要があります。</p> <p>また、本市ならではの特徴的な取り組みとして、こどもや青少年が主役となる事業、人材育成をねらいとした取り組みを継続していく必要があります。</p>

②主な取り組み	③成果	④今後に向けての方向性
<p>また、音楽あふれる学校園づくりをめざす「サウンドスクール」、こどもが主役となる「こども音楽フェスティバル」等の事業も継続実施しました。</p>		

指標：文化芸術ボランティア養成講座受講者数 （平成24年度：40人）

## 2. 大学のあるまちとよなかの推進

### ①趣旨

市内に、大阪大学と大阪音楽大学が所在するという豊中の地域特性を活かし、市民が大学を身近に感じることができるような連携事業を行うことで教育文化都市豊中にふさわしい魅力の創出につなげます。

②主な取り組み	③成果	④今後に向けての方向性
<p>「大学のあるまちとよなか」を発信し、教育文化都市豊中にふさわしい魅力の創出につなげるため、さまざまな大学連携事業を展開しました。</p> <p>大阪大学とは、「大阪大学総合学術博物館企画展『巨大ワニと恐竜の世界』展」の共催を行いました。</p> <p>大阪大学構内のマチカネワニ化石発掘モニュメント横及び柴原口に豊中市が寄贈したマチカネくんデザインのマンホール蓋を設置するとともに、大阪音楽大学周辺では、音楽にまつわる意匠を施した野田中央公園が竣工しました。</p> <p>文芸センターにおける市民参画事業の展開を見据え、大阪大学の協力のもと「文化芸術ボランティア養成講座」を開講しました。また、教育センターでは、「豊中市小・中学生理科展」の作品を対象に平成 23 度より「大阪大学総合学術博</p>	<p>市内大学の知的集積や得意分野を活かした事業を展開することで、市民への文化芸術の発表や鑑賞等を中心に、さまざまな分野における大学連携事業への参画機会と大学を身近に感じていただける場を充実することができました。</p> <p>また、両大学周辺で大学のあるまちにふさわしいハード整備を行うことができました。</p>	<p>今後も、本市の地域資源である市内の大阪大学及び大阪音楽大学との連絡調整を密にしながら、文化芸術分野を中心にさまざまな分野においても大学連携事業の定着を図り、教育文化都市豊中の魅力を市内外に発信していく必要があります。</p>

②主な取り組み	③成果	④今後に向けての方向性
<p>物館長賞、待兼山賞」を創設、12月に表彰式を実施しました。</p> <p>大阪音楽大学とは、とよなか音楽月間(10月～11月)において「こども音楽フェスティバル」をはじめ庄内地域で展開した「まちかどコンサート」を共催実施するなどさまざまな事業で連携を行いました。</p> <p>大阪大学、大阪音楽大学、豊中市が覚書に基づき、共同で事業を実施する大阪大学・大阪音楽大学ジョイント企画事業としては、第3回事業として「平田オリザ氏講演会」を、第4回事業として「ユース合唱フェスティバル～みんなで合唱を楽しもう！」を実施しました。</p>		

指標：文化芸術分野での大学連携事業実施数

(平成24年度：11件)

### 3. 音楽あふれるまちとよなかの推進

#### ①趣旨

音楽が盛んなまち豊中でのさまざまな取り組みを充実することにより「音楽あふれるまちとよなか」として市内外に発信し、その環境整備を進め、教育文化都市豊中にふさわしい魅力の創出につなげます。

大阪音楽大学をはじめとした教育機関や文化芸術団体などさまざまな主体との連携事業を展開するとともに、市民などの発表や鑑賞、練習の場と機会の充実に努めます。

②主な取り組み	③成果	④今後に向けての方向性
<p>「音楽あふれるまちとよなか」を市民に実感していただくと共に本市ならではの魅力を発信するため、9月29日開催の「こども音楽フェスティバル」から11月30日までの期間を「とよなか音楽月間」として平成24年度に初めて設定しました。</p> <p>その主な取り組みとして、大阪音楽大学とは「こども音楽フェスティバル」「大阪音楽大学実施公演」の冠化、音楽博物館における「ガムランワークショップ及び演奏会」「吹奏楽ワークショップ」、庄内地域で展開した「まちかどコンサート」、「エアポートコンサート」を共催実施しました。</p> <p>また、市全体として「音楽あふれるまちとよなか」を発信するため、とよなか</p>	<p>全市的なとよなか音楽月間の設定や日本センチュリー交響楽団との共催による「豊中まちなかクラシック」を実施したことにより、音楽あふれるまちとよなかを市民に実感していただくと共に市外にも本市の魅力を発信することができました。</p>	<p>今後も、音楽あふれるまちとよなかの市内外への浸透を図るため、「とよなか音楽月間」の充実と浸透を図る必要があります。</p> <p>中でも、大阪音楽大学や日本センチュリー交響楽団と連携した取り組みを継続していく必要があります。</p> <p>また、音楽あふれるまちとよなかを市内外に発信する観点からも、文芸センターの基軸となる事業について検討していく必要があります。</p>

②主な取り組み	③成果	④今後に向けての方向性
<p>音楽月間期間中に実施される市主催、共催等のコンサート事業も「とよなか音楽月間参加公演」に位置づけ、市内外に広報しました。</p> <p>さらにとよなか音楽月間以外でも「市民ロビーゆうゆうコンサート」「世界の楽器と音楽（伝統芸能館主催）」「サウンドスクール」「オーケストラの日2013」等さまざまな事業を実施しました。</p> <p>本市ならではの魅力を発信するため、日本センチュリー交響楽団と「音楽あふれるまちの推進に関する協定」を締結し、アクア文化ホールや伝統芸能館等の公共施設の他、市内の教会や寺院、歴史的建造物などを会場に「豊中まちなかクラシック」を開催するとともに、高校生が元気なまちとよなかを発信するため「高校生軽音楽フェスティバル」を実施しました。</p>		

指標：音楽関連事業数                   （平成24年度：28件）

## 4. 協働の仕組みづくりの推進

### ①趣旨

基本方針の重点項目である「協働のしくみづくりと場の整備」の具体化を図るため、活動主体間で文化芸術に関する相談・助言を行えるようなネットワークづくりやインターネット等を利用した情報提供など、協働のためのしくみづくりを進めます。

文化施設以外のさまざまな施設や場所を発表や鑑賞の場として活用することにより、鑑賞、参加、創造の場及び機会の充実に努めます。

文芸センターを核とした地域展開として、原田しろあと館など近隣施設と連携したアウトリーチの取り組みを進めます。

②主な取り組み	③成果	④今後に向けての方向性
<p>協働の仕組みづくりの推進については、文化芸術活動の発表や鑑賞機会の充実並びに分野が異なる芸術家や団体等が交流し、ネットワークを広げる場とするため、豊中市文化芸術連盟との共催事業「第10回豊中市文化芸術祭」を開催しました。また、豊中市美術協会と市が実行委員会を組織し「第58回豊中市美術展」を実施しました。</p> <p>支援制度の充実としては文化芸術の鑑賞・参加・創造の場の提供と文化芸術活動を担う人材育成を図ることをめざした「夢ステージとよなか」事業で、平成23年度に採択された3事業を実施するとともに、平成25年度実施予定の1事業を採択しました。</p> <p>また、市民公益活動推進助成金制度で</p>	<p>文化芸術祭及び美術展、「夢ステージとよなか」については、市民の鑑賞、参加、創造の場及び機会の充実に資することができました。</p> <p>また、「第3回とよぶん・文化・ステーション」や「とよなか音楽月間事業」の取り組みでは、ストリートミュージアムの展開として市内各所において商店街をはじめ日頃は文化芸術の発表に供さない施設や場所でコンサート等を開催し、新たな展開として豊中の魅力を発信することができました。</p>	<p>支援制度として市民企画事業を公募する「夢ステージとよなか」があります。平成23年度が申し込み4件で採択3件、平成24年度が申し込み及び採択共に1件にとどまっているため、他部局や他の自治体の支援制度の状況や実績も見ながら夢ステージとよなかのあり方の見直しを検討する必要があります。</p> <p>また、ストリートミュージアムの展開として、市民や事業者等による主体的な取り組みの支援策を検討していく必要があります。</p>

②主な取り組み	③成果	④今後に向けての方向性
<p>は、平成 23 年度 8 件、平成 24 年度 5 件の文化芸術活動に支援しています。</p> <p>ストリートミュージアムの取り組みとしては、文化芸術に関心を持つ市民や各種団体によるネットワーク形成をめざし設置された「とよなか市民文化会議」との協働で市役所第二庁舎ロビーにおいて市内文化芸術団体の紹介パネル展、コンサート等の事業からなる「第 3 回とよぶん・文化・ステーション」を実施しました。</p> <p>さらに、文化芸術団体や学校との協働・連携の推進としては、千里文化センター市民実行委員会との協働事業などさまざまな取り組みを行いました。</p> <p>協働事業市民提案制度に基づき平成 24 年度にシビックジャズコミュニティの「市民が創るジャズ音楽祭 Civic Jazz」の提案が採択され事業実施に向け協議を進めました。</p>		

指標：文化芸術に関するアウトリーチ活動の実施回数 （平成 24 年度：3 件）

## 5. 文化芸術にかかる地域資源の活用・発信

### ①趣旨

文芸センターを拠点として、市民、事業者、市内の大学（大阪大学、大阪音楽大学）など多様な主体との連携により、各地域の歴史、文化芸術を中心とした魅力ある地域資源を活用・発信します。

②主な取り組み	③成果	④今後に向けての方向性
<p>文化芸術にかかる地域資源の活用と発信については、「大阪大学総合学術博物館企画展『巨大ワニと恐竜の世界』展」の共催を行うことにより、本市の地域資源でもあるマチカネワニの発信を行いました。</p> <p>また、大阪大学の協力のもとで実施した「文化芸術ボランティア養成講座」の公演として豊中の歴史やゆかりの小説、人物に題材を得た創作講談とコンサートからなる「音楽絵巻『豊中愛伝説』」を実施しました。</p> <p>文化芸術に関する交流では、豊中・サンマテオ姉妹都市提携 50 周年記念事業「交流の歩み巡回展」、大阪国際空港における「エアポートコンサート」や「豊中市美術展会員作品展」及び大阪国際空港就航都市である島根県隠岐の島町の作家の作品展示を行うとともに、兄弟都市の沖縄市芸能団体協議会による舞踊と豊</p>	<p>本市における地域資源の活用・発信がさまざまな部局で取り込まれることにより、市民に豊中の地域資源を認識していただくことができました。</p> <p>文化芸術に関する交流では、兄弟都市沖縄市や大阪国際空港就航都市と具体的な文化交流事業を実施することができました。</p> <p>また、姉妹都市サンマテオ市との交流の歩みを市民に周知することができました。</p>	<p>文化芸術にかかる地域資源の発掘・発信については、市民、事業者、大学等の教育機関等さまざまな主体との連携を進め、豊中の歴史や文化等からテーマ性、ストーリー性を持たせた事業等を継続的に実施していく必要があります。</p> <p>一方、平成 26 年に沖縄市兄弟都市提携 40 周年を迎えることから、兄弟都市提携の市民周知を図るとともに、これまでの交流の集大成となるだけでなく、新たな交流、次世代交流のきっかけづくりや両市の魅力発信にもなるよう全市的な周年事業の実施を検討する必要があります。</p>

②主な取り組み	③成果	④今後に向けての方向性
<p>中市文化芸術連盟が共演する「琉球芸能鑑賞会」を開催しました。</p> <p>本市の魅力を創造・発信する取り組みとして、市内最大のイベントである「豊中まつり 2012」を豊中まつり実行委員会の一員として開催した他、「るるぶ豊中」の編集協力や市のキャラクター「マチカネくん」の活用、「原田しろあと館」の公開や催し、図書館における「北摂アーカイブス」（地域の昔の写真を収集・編集し、発信・展示を行う）の取り組み等を行いました。</p>		

指標：文化芸術にかかる地域資源の活用事例数 (平成 24 年度：8 件)  
文化芸術に関する交流イベント数 (平成 24 年度：9 件)  
「マチカネくん」着ぐるみのイベント出演回数 (平成 24 年度：8 1 件)

## VII. 平成24年度文化芸術振興基本方針施策別の取り組み

【文化芸術推進プランの施策】

- ①文化芸術活動を担う人材の育成
- ②大学のあるまちとよなかの推進
- ③音楽あふれるまちとよなかの推進
- ④協働のしくみづくりの推進
- ⑤文化芸術にかかる地域資源の活用・発信

### (1) 協働の仕組みづくりと場の整備

#### ① コラボレーション(協働)事業の推進

所管部局・課名称	細事業名称	事業費総額 (千円)	開始時期	指標名	単位	H24年度 目標値	H24年度 実績値	内容	推進プラン の対応箇所
人権文化部 文化芸術室	豊中市文化芸術推進プランの推進	4,776	平成24年	プランに沿って実施された事業数	回	20	24	市内の大学(大阪大学、大阪音楽大学)と開設に向けた取組みを進めている(仮称)文化芸術センターを市の地域資源の中核としつつ、豊中の地域資源を活かした文化芸術振興事業を行います。	①～⑤
	豊中まつり	15,366	昭和43年	ボランティア参加者数	人	1200	1100	市民がつくる市民のまつりを通じ、さまざまな人と文化がふれあうことにより、豊中の文化を市内外に発信します。	④、⑤
	豊中市美術展	6,025	昭和30年	検討会議開催回数	回	12	7	豊中市・豊中市教育委員会・豊中市美術協会が共催で、日本画・洋画・彫塑・工芸・デザイン・書・写真の7部門の出展作品を公募し、審査により入選・入賞を選び、展覧会を開催します。	④
	豊中市文化芸術祭	1,817	平成15年	参加団体数*	団体	14	14	舞台芸術と美術品・生け花の展示企画等、芸術分野を越えて連携する事業を実施します。	④
	市民ホール自主文化事業	2,914	昭和44年	—	—	—	—	市民企画公募事業「夢ステージとよなか」、市民鑑賞事業「落語」、大阪音楽大学連携事業「オーケストラの日」を開催します。	③、④
市民協働部 コミュニティ政策室	協働推進の公募制度	142	平成16年	提案公募型委託制度を活用した募集件数 協働事業市民提案制度への提案事業数	件 事業	3 3	6 1	市が課題を提示し、市民公益活動団体から企画提案を募る提案公募型委託制度と、市民公益活動団体から自由な企画提案を募る協働事業市民提案制度を活用し、市と市民公益活動団体の協働を推進します。	④
市民協働部 千里地域連携センター	コラボ事業	3,225	平成21年	連携事業の実施回数 市民事業の実施回数	回 回	20 50	123	情報の受発信や案内、相談、交流の拠点となる「コラボひろば」と「屋上庭園」を活用し、市民との協働や施設間の連携により、事業の企画・実施を行います。 *また、協働事業市民提案制度を活用した「ディスクカバー千里」事業を展開中で、千里地区での生活や暮らしのインタビューの記録をまとめたり、同地区初期の写真の収集、同地区への転入者向けの生活情報冊子集「ウェルカムバック」の作成・配布を行ったりしています。	④
教育委員会 読書振興課	子どもをとりまく読書環境整備の取り組み	1,397	昭和20年	児童書の蔵書数 児童書の貸出冊数	冊 冊	330,000 1,100,000	328,732 1,063,263	豊中市子ども読書活動推進計画に基づいて市民、事業者、関係部局、関係機関と連携し、市内のすべての子どもが本と出会い読書を楽しむことができるよう、読書環境を整え、子どもの読書を支える活動を推進します。	④
	地域・市民との協働事業	1,452	平成17年	各種団体、地域の活動団体・グループとの共催・協力事業 実施回数 各種団体、地域の活動団体・グループとの共催・協力事業 参加人数	回 人	720 21,000	739 20,427	地域情報を図書館に集め、市民と協働し様々な事業に取組みます。子ども読書活動推進、しょうないREIK、北摂アーカイブス等の各事業を行うとともに、音点訳ボランティア、千里文化センター市民運営会議、地域教育協議会等とも連携し事業に取組みます。	④
	地域情報デジタル化事業システムの運用	60	平成21年	北摂アーカイブスへのアクセス件数 公開データ件数	件 件	72,000 240	69,641 247	図書館が、ICT及び図書館情報システムを活用して地域情報の収集・発信を行うための仕組みを実現し、市民と事業者と行政の協働で事業を行います。「わがまちの記憶を記録に」を理念とし、市民ボランティアが図書館を活動拠点として、地域に眠る写真の収集・整理・デジタル化を行い、図書館のホームページ等を通じて発信します。	④
教育委員会 中央公民館	大学等連携講座	433	平成23年	開催回数 参加者満足度	回 %	50 80	161 92	大学やNPO・企業などと連携することによって、専門的な分野についての講座や、市民の多様なニーズに応える講座の実施など、学習機会を提供します	③、④
こども未来部 保育幼稚園室	キッズフェスタ	1,505	平成15年	延べ参加者数	人	2500	2387	親子のふれあいや遊びの場の提供、関係機関と連携し、幼稚園や幼児教育・子育て全般に関わる情報・資料の提供等を通じ子育て支援の充実を図ります。	④

②文化芸術の市民ネットワーク組織の設置

所管部局・課名称	細事業名称	事業費総額 (千円)	開始時期	指標名	単位	H24年度 目標値	H24年度 実績値	内容	推進プラン の対応箇所
人権文化部 文化芸術室	豊中市文化芸術推進プランの推進（再掲）	4,776	平成24年	プランに沿って実施された事業数	回	20	24	市内の大学（大阪大学、大阪音楽大学）と開設に向けた取組みを進めている（仮称）文化芸術センターを市の地域資源の中核としつつ、豊中の地域資源を活かした文化芸術振興事業を行います。	①～⑤
	とよなか市民文化会議との協働	55	平成20年	事業参加者数 事業開催回数	人 回	100 2	195 1	文化芸術活動に関するニーズや課題を共有しながら、これからの豊中の文化芸術について、幅広い観点から市民がともに考え、実践する場「とよなか市民文化会議」が企画する文化振興イベントを協働で運営します。	④

③市民企画事業の支援

72

所管部局・課名称	細事業名称	事業費総額 (千円)	開始時期	指標名	単位	H24年度 目標値	H24年度 実績値	内容	推進プラン の対応箇所
人権文化部 文化芸術室	豊中市文化芸術推進プランの推進（再掲）	4,776	平成24年	プランに沿って実施された事業数	回	20	24	市内の大学（大阪大学、大阪音楽大学）と開設に向けた取組みを進めている（仮称）文化芸術センターを市の地域資源の中核としつつ、豊中の地域資源を活かした文化芸術振興事業を行います。	①～⑤
	豊中まつり（再掲）	15,366	昭和43年	ボランティア参加者数	人	1200	1100	市民がつくる市民のまつりを通じ、さまざまな人と文化がふれあうことにより、豊中の文化を市内外に発信します。	④、⑤
	豊中市文化芸術祭（再掲）	1,817	平成15年	参加団体数・	団体・	14・	14	舞台芸術と美術品・生け花の展示企画等、芸術分野を越えて連携する事業を実施します。	④
	市民ホール自主文化事業（再掲）	2,914	昭和44年	—	—	—	—	市民企画公募事業「夢ステージとよなか」、市民鑑賞事業「落語」、大阪音楽大学連携事業「オーケストラの日」を開催します。	③、④
市民協働部 コミュニティ政策室	市民公益活動団体の運営支援	500	平成17年	マネジメント講座参加者数	人	30	64	市民公益活動を行う上で必要な知識や活動に役立つ情報、団体運営のノウハウ等を学ぶ機会を提供します。	④
	市民公益活動推進助成金制度	1,958	平成16年	新規事業数	事業	13	3	市民公益活動事業に必要な経費の助成を希望する団体の公募を行い、公開プレゼンテーション・審査を経て交付決定します。事業実施後に報告会を行います。	④
市民協働部 千里地域連携センター	コラボ事業（再掲）	3,225	平成21年	連携事業の実施回数 市民事業の実施回数	回 回	20 50	123	情報の受発信や案内、相談、交流の拠点となる「コラボひろば」と「屋上庭園」を活用し、市民との協働や施設間の連携により、事業の企画・実施を行います。 *また、協働事業市民提案制度を活用した「ディスカバー千里」事業を展開中で、千里地区での生活や暮らしのインタビューの記録をまとめたり、同地区初期の写真の収集、同地区への転入者向けの生活情報冊子集「ウェルカムバック」の作成・配布を行ったりしています。	④
教育委員会 青少年育成課	高校生ダンスフェスタ	1,704	平成16年	出演者数 来場者数	人 人	600 1900	650 1415	ダンスに取り組んでいる高校生世代の青年グループを公募して実行委員会を立ち上げ、それぞれのグループの発表のみならず、制作過程を大切に高校生等によるストリートダンスの発表会を創りあげます。	④
	若者情報サイト	167	平成8年	アクセス件数	件	5500	7888	若者の視点で企画、取材、編集をして、ウェブ上にホームページ「WEB-T'sとよよ」で豊中市内外の地域情報を発信します。	④
教育委員会 地域教育振興室	とよなか地域子ども教室	23,897	平成16年	教室数 地域子ども教室延べ参加者数(大人) 地域子ども教室延べ参加者数(子ども)	力所 人 人	41 45000 115000	41 49,172 105,206	各小学校区単位で実行委員会を設置し、週1回程度、土日などの休日や放課後に子どもたちが地域の大人と交流しながら、学習やスポーツ、文化活動など地域の特性を活かした取り組みを行います。	④

## ④大学等の教育機関との連携

所管部局・課名称	細事業名称	事業費総額 (千円)	開始時期	指標名	単位	H24年度 目標値	H24年度 実績値	内容	推進プラン の対応箇所
人権文化部 文化芸術室	文化芸術振興基本方針の推進	14	平成20年	文化芸術振興基本方針に基づく事業数	事業	140	72	文化芸術振興基本方針に基づく施策の進捗状況の把握や文化情報の収集等同方針の推進の推進を図ります。	
	豊中市文化芸術推進プランの推進（再掲）	4,776	平成24年	プランに沿って実施された事業数	回	20	24	市内の大学(大阪大学、大阪音楽大学)と開設に向けた取組みを進めている(仮称)文化芸術センターを市の地域資源の中核としつつ、豊中の地域資源を活かした文化芸術振興事業を行います。	①～⑤
	市民ホール自主文化事業（再掲）	2,914	昭和44年	—	—	—	—	市民企画公募事業「夢ステージとよなか」、市民鑑賞事業「落語」、大阪音楽大学連携事業「オーケストラの日」を開催します。	③、④
	市民ロビーゆうゆうコンサート	544	平成5年	開催回数	回	4	4	昼休みの時間帯を利用し、第二庁舎1階市民ロビーでさまざまなジャンルの演奏を実施します。また、平成22年度より大阪音楽大学との連携協力事業とし、同校から演奏者を招き実施しています。	②、③
教育委員会 教育推進室	サウンドスクール事業	5,995	平成18年	H24実施校数	校	59	42	(1)「生きた演奏支援活動」大阪音楽大学の学生や卒業生を小中学校に派遣し、出張演奏会や授業支援、クラブ活動支援等を行います。 (2)「伝統音楽の普及」箏(琴)をセンター校に配置し、和楽器の取り扱いの充実に向け箏(琴)を活用した表現活動を支援します。	②、③
教育委員会 教育センター	科学教育推進事業	1,470	昭和29年	研修・講座等開催回数	回	28	42	教職員の科学教育に関する指導力向上のための研修環境の整備をすすめます。また、小中学生の科学に対する興味・関心・意欲を高め、真理を追究する姿勢を育成するとともに、科学教育を振興し、科学の側面からの学びの循環都市をめざします。	②
こども未来部 保育幼稚園室	サウンドスクール	204	平成19年	サウンドスクール招聘回数	回	7	7	「音楽溢れる学校園づくり」を目的に大阪音楽大学との連携による「生きた演奏支援活動」(出張演奏会)を市立幼稚園において実施します。	②、③

## (2)鑑賞、参加、創造の場及び機会の充実

## ①文化芸術の拠点施設の整備

所管部局・課名称	細事業名称	事業費総額 (千円)	開始時期	指標名	単位	H24年度 目標値	H24年度 実績値	内容	推進プラン の対応箇所
人権文化部 文化芸術室	豊中市文化芸術推進プランの推進（再掲）	4,776	平成24年	プランに沿って実施された事業数	回	20	24	市内の大学(大阪大学、大阪音楽大学)と開設に向けた取組みを進めている(仮称)文化芸術センターを市の地域資源の中核としつつ、豊中の地域資源を活かした文化芸術振興事業を行います。	①～⑤
	文化施設建設基金	7,973	昭和59年	文化施設の建設 H24文化施設の建設基金	件 件	—	0 3	基金の管理・運営を行います。予算額は文化施設建設基金の利子収入積立金額です。	
	(仮称)文化芸術センター整備事業 (文化芸術センター整備費)	66,023	平成23年	—	—	—	建設工事設計、環境影響評価調査など	(仮称)文化芸術センター基本構想と同基本計画をふまえたH23年度の整備計画をもとに基本設計、実施設計に着手します。審議会や文化芸術団体、近隣住民等と調整を図りながら解体及び建設工事を着工します。	

②発表や鑑賞及び制作や練習の場の充実

所管部局・課名称	細事業名称	事業費総額 (千円)	開始時期	指標名	単位	H24年度 目標値	H24年度 実績値	内容	推進プラン の対応箇所
人権文化部 文化芸術室	文化芸術振興基本方針の推進（再掲）	14	平成20年	文化芸術振興基本方針に基づく事業数	事業	140	72	文化芸術振興基本方針に基づく施策の進捗状況の把握。	
	豊中市文化芸術推進プランの推進（再掲）	4,776	平成24年	プランに沿って実施された事業数	回	20	24	市内の大学（大阪大学、大阪音楽大学）と開設に向けた取組みを進めている（仮称）文化芸術センターを市の地域資源の中核としつつ、豊中の地域資源を活かした文化芸術振興事業を行います。	①～⑤
	豊中まつり（再掲）	15,366	昭和43年	ボランティア参加者数	人	1200	1100	市民がつくる市民のまつりを通じ、さまざまな人と文化がふれあうことにより、豊中の文化を市内外に発信します。	④、⑤
	豊中市美術展（再掲）	6,025	昭和30年	検討会議開催回数	回	12	7	豊中市・豊中市教育委員会・豊中市美術協会が共催で、日本画・洋画・彫塑・工芸・デザイン・書・写真の7部門の展覧作品を公募し、審査により入選・入賞を選び、展覧会を開催します。	④
	豊中市文化芸術祭（再掲）	1,817	平成15年	参加団体数*	団体	14	14	舞台芸術と美術品・生け花の展示企画等、芸術分野を越えて連携する事業を実施します。	④
	伝統芸能館施設運営	3,063	平成8年	H24発表会・公演回数(主催等除) H24参加者数(まつりリハーサル含む) H24主催・共催・連携事業数(まつり含)	回 人 本	60 2000 11	63 1257 13	組織運営・企画の支援 発表会の支援を行います。	④
	市企画展	1,856	平成3年	開催回数	回	9	11	市民との連携やテーマに基づいた企画、市所蔵美術作品の展示などの展覧会を行います。	
	市民ホール自主文化事業（再掲）	2,914	昭和44年	—	—	—	—	市民企画公募事業「夢ステージとよなか」、市民鑑賞事業「落語」、大阪音楽大学連携事業「オーケストラの日」を開催します。	③、④
	市民ロビーゆうゆうコンサート（再掲）	544	平成5年	開催回数	回	4	4	昼休みの時間帯を利用し、第二庁舎1階市民ロビーでさまざまなジャンルの演奏を実施します。また、平成22年度より大阪音楽大学との連携協力事業とし、同校から演奏者を招き実施しています。	②、③
	美術品等購入基金	718	平成2年	美術品等の購入 H24美術品等の購入基金	件 件	—	0 0	基金の管理・運営を行います。予算額は美術品等購入基金の利子収入積立金額です。	
市所蔵美術品管理	4,669	平成20年	収蔵点数	点	791	791	所蔵美術品を、劣化することなく適切に保管するため、一定の温度(17度(±3度))と湿度(55%(±5%))に保つことのできる機能を備えた美術品保管倉庫を借り上げ、保管します。		
市民協働部 千里地域連携センター	コラボ事業（再掲）	3,225	平成21年	連携事業の実施回数 市民事業の実施回数	回 回	20 50	123	情報の受発信や案内、相談、交流の拠点となる「コラボひろば」と「屋上庭園」を活用し、市民との協働や施設間の連携により、事業の企画・実施を行います。*また、協働事業市民提案制度を活用した「ディスカバー千里」事業を展開中で、千里地区での生活や暮らしのインタビューの記録をまとめたり、同地区初期の写真の収集、同地区への転入者向けの生活情報冊子「ウェルカムバック」の作成・配布を行ったりしています。	④
健康福祉部 いきいきセンター高齢者支援課	老人文化祭事業	862	昭和47年	来場者数 出演数	人 点	750 500	605 678	市内高齢者より作品を募集し、2日間にわたり文化作品を会場に展示し、文芸作品は作品目録に掲載し配布します。(豊中市老人クラブ連合会との共催)	④
教育委員会 教育センター	子どもの居場所づくり(提案公募型委託事業)	3,000	平成24年	延べ参加人数	人	4000	5020	地域の子どもや若者が遊び、憩い、学び、つながれる、温かで安心できる居場所の提供	
教育委員会 青少年育成課	高校生ダンスフェスタ（再掲）	1,704	平成16年	出演者数 来場者数	人 人	600 1900	650 1415	ダンスに取り組んでいる高校生世代の青年グループを公募して実行委員会を立ち上げ、それぞれのグループの発表のみならず、制作過程を大切に高校生等によるストリートダンスの発表会を創りあげます。	④
	遊びのボランティア紹介事業	56	平成9年	延べ紹介件数	件	130	114	竹とんぼや飛行機づくり、手芸やけん玉など、昔ながらの遊びを含め、様々な遊びの技能を持った市民や団体を登録し、派遣を希望することも会、学校、PTA、児童会などの団体に紹介します。	

所管部局・課名称	細事業名称	事業費総額 (千円)	開始時期	指標名	単位	H24年度 目標値	H24年度 実績値	内容	推進プラン の対応箇所
教育委員会 読書振興課	図書館主催事業	148	昭和20年	図書館主催行事実施回数 図書館主催行事参加人数	回 人	1,800 45,000	1,810 46,112	市民がより豊かで文化的な生活を営むために、文字・活字文化振興事業として講演会を実施するほか、映画会等の読書振興事業を行います。このことを通じ、図書館を利用したことがない市民の来館のきっかけとします。	
教育委員会 中央公民館	社会教育関係団体の支援	1,505	昭和24年	発表会、展示会の参加者数	人	12500	12276	社会教育関係団体(17団体)の活動を支援するとともに、連携して展示会や講習会を開催します	④
	公民館登録グループ支援	9	平成23年	グループ数 講習会・発表会・展示会開催数	回 回	475 180	459 127	公民館登録グループに対して活動場所の確保や、公民館まつり、グループ体験講習会など活動成果の発表の場を提供するとともに、教養の向上、生きがいづくりを支援します	④
消防本部 予防課	消防音楽隊	385	昭和52年	消防音楽隊の出演回数	回数	17	17	主に市民を対象とした行事に出演し、演奏を通じて、広く市民に防火・防災思想の啓発を行っています。	
こども未来部 保育幼稚園室	キッズフェスタ（再掲）	345	平成15年	延べ参加者数	人	2500	2387	親子のふれあいや遊びの場の提供、関係機関と連携し、幼稚園や幼児教育・子育て全般に関わる情報・資料の提供等を通じ子育て支援の充実を図ります。	④
	サウンドスクール（再掲）	204	平成19年	サウンドスクール招聘回数	回	7	7	「音楽溢れる学校園づくり」を目的に大阪音楽大学との連携による「生きた演奏支援活動」(出張演奏会)を市立幼稚園において実施します。	②、③
政策企画部 都市活力創造室	魅力創造事業	12,490	平成24年	豊中に住み続けたいと感じる市民の割合	%	-	-	豊中の魅力を高める事業の実施など、豊中ブランド創出に関する取組みを展開します。 ・(市民協働部くらしセンター地域経済課から「観光関連事業」を移管し、事業統合。)・ ※平成24年度は調査未実施のため、目標値・実績値なし	⑤

## ③既存施設の利便性の向上と多目的利用の促進

所管部局・課名称	細事業名称	事業費総額 (千円)	開始時期	指標名	単位	H24年度 目標値	H24年度 実績値	内容	推進プラン の対応箇所
教育委員会 青少年育成課	青年の家いぶき主催事業	350	昭和58年	いぶき夏休み事業 延べ参加者数 バンド練習・プラネ寄席 延べ利用団体数	人 団体	400 0	957 317	夏休みクラフト教室・平和月間事業・夏季学習室開放事業・鉄道模型走行展示会・青春音楽講座・星空観察会・ファミリーミュージカル 他・プラネ寄席・バンド練習。	
こども未来部 保育幼稚園室	幼稚園支援社会人等指導者活用事業	258	平成16年	招聘回数	回	105	103	遊びの場面など、多様な指導に際し様々な技能や専門性を持った地域の人材の活用を図り、開かれた園づくりの推進を図ります。	

## (3)子ども、高齢者、障害者などの文化芸術活動の充実

## ①子どもの文化芸術活動の充実

所管部局・課名称	細事業名称	事業費総額 (千円)	開始時期	指標名	単位	H24年度 目標値	H24年度 実績値	内容	推進プラン の対応箇所
人権文化部・人権政策室 豊中人権まちづくりセンター	青少年学習活動推進事業	4,048	平成12年	実施回数	回	758	1032	人権の仲間づくりを基軸とした文化・スポーツ・体験等の活動を通して、人との関わり、人とつながることの大切さを学ぶとともに、自分らしく生きる力や人権感覚などを育みます。	
人権文化部・人権政策室 蛍池人権まちづくりセンター	青少年学習活動推進事業	4,535	平成12年	年間参加者数 延べ参加者数(スポーツ活動推進事業) 延べ参加者数(体験活動推進事業)	人 人 人	11000 2500 1500	14239 2795 1695	人権の仲間づくりを基軸とした文化・スポーツ・体験等の活動を通して、人との関わり、人とつながることの大切さを学ぶとともに、自分らしく生きる力や人権感覚などを育みます。	
教育委員会 教育推進室	サウンドスクール事業（再掲）	5,995	平成18年	H24実施校数	校	59	42	(1)「生きた演奏支援活動」大阪音楽大学の学生や卒業生を小中学校に派遣し、出張演奏会や授業支援、クラブ活動支援等を行います。 ・(2)「伝統音楽の普及」箏(琴)をセンター校に配置し、和楽器の取り扱いの充実に向け箏(琴)を活用した表現活動を支援します。	②、③
	小学校連合音楽会・中学校音楽研究演奏会	474	昭和26年	H24実施回数	回	2	2	発表校の児童生徒による合唱、器楽合奏、吹奏楽等の演奏及び相互の鑑賞を行います。	③
	教育美術展	100	昭和48年	開催回数	回	1	1	生徒の創造的造形学習に対する意欲を高め、表現能力を伸ばすことをねらいとして、平素の美術学習の成果を展示発表します。また、市民の美術教育に対する理解と関心を高めます。	

所管部局・課名称	細事業名称	事業費総額 (千円)	開始時期	指標名	単位	H24年度 目標値	H24年度 実績値	内容	推進プラン の対応箇所
教育委員会 教育センター	子どもの居場所づくり(提案公募型委託事業) (再掲)	3,000	平成24年	延べ参加人数	人	4000	5020	地域の子どもや若者が遊び、憩い、学び、つながれる、温かて安心できる居場所の提供	
	図書活動	3,121	平成1年	延べ参加人数	人	10000	6943	図書ラウンジを地域に開放し、貸出、自由閲覧、たのしいつどいなど、図書に親しむ機会を提供します。	
	科学教育推進事業 (再掲)	1,470	昭和29年	研修・講座等開催回数	回	28	42	教職員の科学教育に関する指導力向上のための研修環境の整備をすすめます。また、小中学生の科学に対する興味・関心・意欲を高め、真理を追究する姿勢を育成するとともに、科学教育を振興し、科学の側面からの学びの循環都市をめざします。	②
教育委員会 青少年育成課	高校生ダンスフェスタ (再掲)	1,704	平成16年	出演者数 来場者数	人 人	600 1900	650 1415	ダンスに取り組んでいる高校生世代の青年グループを公募して実行委員会を立ち上げ、それぞれのグループの発表のみならず、制作過程を大切にた高校生等によるストリートダンスの発表会を創りあげます。	④
教育委員会 地域教育振興室	とよなか地域子ども教室 (再掲)	23,897	平成16年	教室数 地域子ども教室延べ参加者数(大人) 地域子ども教室延べ参加者数(子ども)	カ所 人 人	41 45000 115000	41 49,172 105,206	各小学校区単位で実行委員会を設置し、週1回程度、土日などの休日や放課後に子どもたちが地域の大人と交流しながら、学習やスポーツ、文化活動など地域の特性を活かした取り組みを行います。	
	地域教育協議会(すこやかネット)	4,765	平成12年	協議会数 各地域におけるフェスタ等行事延べ参加者数	中学校区 人	18 24000	18 22,000	市内全中学校区に地域教育協議会を設置し、各校区でフェスタや子育て講演会、学校教育への支援など、学校・家庭・地域のネットワークを深める事業展開を行い、地域教育の活性化を図ります。	
	文化財の保護、活用及び啓発	4,680	昭和31年	文化財の公開及び展示の入場者総数 子ども文化財教室等の講座・学習事業への参加者数 登録文化財 指定文化財	人 人 件 件	6000 1900 - -	7115 1034 25 79	これまでに収集した膨大な資料(考古、古文書、民俗資料等)を、收藏環境に配慮しながら適切に保存・管理し、次世代に継承します。また、市内民家に伝わる古文書や民俗資料、それにまつわる伝説・伝承など新たな資料の収集に努めます。さらに展示や出前講座、史跡散策など、市内各学校や施設との連携事業等を通じ、文化財の公開・活用を進めます。	
教育委員会 読書振興課	ブックスタート事業	3,728	平成15年	4か月健診対象乳児に対するブックスタート バック手渡し率	%	100	97	「えほんはじめまして」事業を発展拡充し、4か月児健診時にすべての乳児に絵本を手渡すブックスタート事業として実施します。近隣の図書館や子ども文庫、動く図書館のステーションなどの利用方法をご案内するとともに、一人ひとりの親子に絵本を読み聞かせし、その場で絵本を手渡します。	
	豊中市子ども読書活動推進計画の推進	240	平成17年	第2期実施計画に基づいた事業実施数	事業	155	158	「豊中市子ども読書活動推進計画」「豊中市子ども読書活動推進計画第2期実施計画」に基づき、図書館が中心となって市と市民が連携し、子どもがあらゆる機会と場所において、自主的に読書ができるよう、様々な事業を実施するとともに、豊中市子ども読書活動推進連絡協議会を設置し、事業の調整や進捗状況の把握など、進捗管理を行います。なお、「第2期計画」は平成23年度よりおおむね5か年の計画となっており、平成26年度には「第2期計画」の事業評価を行い、以後の推進体制や取り組み等についての検討を行います。	
こども未来部 保育幼稚園室	子育て支援センターほっぺ事業	1,917	平成8年	子育て支援センター遊び場利用者数	人	26000	27310	地域の子育て支援拠点施設として、相談、講座の開催、サークルの育成、遊びや交流の場の提供を行い、さまざまな子育て支援をします。	
	キッズフェスタ (再掲)	345	平成15年	延べ参加者数	人	2500	2387	親子のふれあいや遊びの場の提供、関係機関と連携し、幼稚園や幼児教育・子育て全般に関わる情報・資料の提供等を通じ子育て支援の充実を図ります。	④
	支援センター子育て支援事業	1,352	平成17年	延べ参加者数	人	0	166554	地域の子育て支援拠点施設として、相談、講座の開催、サークルの育成、遊びや交流の場の提供を行い、さまざまな子育て支援を実施します。	
	サウンドスクール (再掲)	204	平成19年	サウンドスクール招聘回数	回	7	7	「音楽溢れる学校園づくり」を目的に大阪音楽大学との連携による「生きた演奏支援活動」(出張演奏会)を市立幼稚園において実施します。	②、③
	地域子育て支援センター事業(保育所費)	2,209	平成8年	地域子育て支援センター遊び場利用者数	人	54000	66154	地域の子育て支援拠点施設として市内16カ所(てしま幼稚園内含む)において、相談、講座の開催、サークルの育成、遊びや交流の場の提供を行い、さまざまな子育て支援を実施します。	

所管部局・課名称	細事業名称	事業費総額 (千円)	開始時期	指標名	単位	H24年度 目標値	H24年度 実績値	内容	推進プラン の対応箇所
こども未来部 保育幼稚園室	幼稚園子育て支援事業	346	平成16年	園庭開放 延べ参加者数	人	38000	37518	市立幼稚園において実施する子育て総合支援事「子育て・子育て支援講座」「育児相談・就学前相談」「幼稚園の預かり保育」「未就園児の体験入園」「放課後の園庭開放」等を行います。	
	幼稚園支援社会人等指導者活用事業（再掲）	258	平成16年	招聘回数	回	105	103	遊びの場面など、多様な指導に際し様々な技能や専門性を持った地域の人材の活用を図り、開かれた園づくりの推進を図ります。	
政策企画部 都市活力創造室	魅力創造事業（再掲）	12,490	平成24年	豊中に住み続けたいと感じる市民の割合	%	-	-	豊中の魅力を高める事業の実施など、豊中ブランド創出に関する取組みを展開します。 （市民協働部くらしセンター地域経済課から「観光関連事業」を移管し、事業統合。） ※平成24年度は調査未実施のため、目標値・実績値なし	⑤

## ②高齢者や障害者等あらゆる人びとが活動の主体となる取り組みの支援

所管部局・課名称	細事業名称	事業費総額 (千円)	開始時期	指標名	単位	H24年度 目標値	H24年度 実績値	内容	推進プラン の対応箇所
健康福祉部 いきいきセンター障害福祉課	みのり園施設運営	52,427	昭和50年	月平均利用者数	人	46	40	社会生活に必要な日常生活の支援と、行動障害のある人に対してはその人の障害特性に応じた支援を行います。また、社会経験を豊かにするため、体育、ミュージックセラピー、お茶、陶芸、手織りや園芸などの活動を行います。	
	みずほ園施設運営	18,767	昭和55年	月平均利用者数	人	30	23.1	職業（生産活動）支援、生活支援、レクリエーション及び就労支援を行います。	
	おおぞら園施設運営	17,232	昭和55年	月平均利用者数	人	20	12.3	個別支援計画に基づき、日中活動支援を行います。また日常的な健康管理、必要に応じて家族との連絡・相談支援を行います。	
	ひまわり講座	3,716	平成2年	実施延べ回数 参加延べ人数	回 人	466 6000	483 6007	書道・ダンベル体操・パソコン等の各種講座を開催します。年間5ヶ月間2回の講座と1ヶ月間（1人10時間）2回のパソコン講習会等を実施します。	
教育委員会 地域教育振興室	障害者青年教室	1,962	昭和41年	開設教室延べ参加者数	人	6500	6747	障害のある青年に対し、音楽・体育・調理・リズム体操・生花・茶道・陶芸等の学習機会を提供します。	
こども未来部 保育幼稚園室	幼稚園支援社会人等指導者活用事業（再掲）	258	平成16年	招聘回数	回	105	103	遊びの場面など、多様な指導に際し様々な技能や専門性を持った地域の人材の活用を図り、開かれた園づくりの推進を図ります。	

## (4)文化芸術活動を担う人材の育成

### ①文化ボランティアとの連携の推進

所管部局・課名称	細事業名称	事業費総額 (千円)	開始時期	指標名	単位	H24年度 目標値	H24年度 実績値	内容	推進プラン の対応箇所
人権文化部 文化芸術室	豊中市文化芸術推進プランの推進（再掲）	4,776	平成24年	プランに沿って実施された事業数	回	20	24	市内の大学（大阪大学、大阪音楽大学）と開設に向けた取組みを進めている（仮称）文化芸術センターを市の地域資源の中核としつつ、豊中の地域資源を活かした文化芸術振興事業を行います。	①～⑤
	豊中まつり（再掲）	15,366	昭和43年	ボランティア参加者数	人	1200	1100	市民がつくる市民のまつりを通じ、さまざまな人と文化がふれあうことにより、豊中の文化を市内外に発信します。	④、⑤
	とよなか市民文化会議との協働（再掲）	55	平成20年	事業参加者数 事業開催回数	人 回	100 2	195 1	文化芸術活動に関するニーズや課題を共有しながら、これからの豊中の文化芸術について、幅広い観点から市民がともに考え、実践する場「とよなか市民文化会議」が企画する文化振興イベントを協働で運営します。	④
市民協働部 コミュニティ政策室	市民活動情報サロン主催事業	5,316	平成24年	情報発信した団体数 情報サロンの利用人数	団体 人	24 4900	30 6046	市民公益活動のための情報発信及び交流の場の提供、市民公益活動の推進に関する情報の収集・提供、相談、講座の開催、啓発の実施などを行います。	④

所管部局・課名称	細事業名称	事業費総額 (千円)	開始時期	指標名	単位	H24年度 目標値	H24年度 実績値	内容	推進プラン の対応箇所
教育委員会 青少年育成課	遊びのボランティア紹介事業（再掲）	56	平成9年	延べ紹介件数	件	130	114	竹とんぼや飛行機づくり、手芸やけん玉など、昔ながらの遊びを含め、様々な遊びの技能を持った市民や団体を登録し、派遣を希望することも会、学校、PTA、児童会などの団体に紹介します。	
教育委員会 地域教育振興室	とよなか地域子ども教室（再掲）	23,897	平成16年	教室数 地域子ども教室延べ参加者数(大人) 地域子ども教室延べ参加者数(子ども)	カ所 人 人	41 45000 115000	41 49,172 105,206	各小学校区単位で実行委員会を設置し、週1回程度、土日などの休日や放課後に子どもたちが地域の大人と交流しながら、学習やスポーツ、文化活動など地域の特性を活かした取り組みを行います。	
教育委員会 読書振興課	地域・市民との協働事業（再掲）	1,452	平成17年	各種団体、地域の活動団体・グループとの 共催・協力事業 実施回数 各種団体、地域の活動団体・グループとの 共催・協力事業 参加人数	回 人	720 21,000	739 20,427	地域情報を図書館に集め、市民と協働し様々な事業に取組みます。子ども読書活動推進、しょうないREIK、北摂アーカイブス等の各事業を行うとともに、音点訳ボランティア、千里文化センター市民運営会議、地域教育協議会等とも連携し事業に取組みます。	④
	地域情報デジタル化事業システムの運用(再掲)	60	平成21年	北摂アーカイブスへのアクセス件数 公開データ件数	件 件	72,000 240	69641 247	図書館が、ICT及び図書館情報システムを活用して地域情報の収集・発信を行うための仕組みを実現し、市民と事業者と行政の協働で事業を行います。「わがまちの記憶を記録に」を理念とし、市民ボランティアが図書館を活動拠点として、地域に眠る写真の収集・整理・デジタル化を行い、図書館のホームページ等を通じて発信します。	④

## ②次世代の育成

所管部局・課名称	細事業名称	事業費総額 (千円)	開始時期	指標名	単位	H24年度 目標値	H24年度 実績値	内容	推進プラン の対応箇所
人権文化部 文化芸術室	豊中市文化芸術推進プランの推進（再掲）	4,776	平成24年	プランに沿って実施された事業数	回	20	24	市内の大学(大阪大学、大阪音楽大学)と開設に向けた取組みを進めている(仮称)文化芸術センターを市の地域資源の中核としつつ、豊中の地域資源を活かした文化芸術振興事業を行います。	①～⑤
人権文化部・人権政策室 豊中人権まちづくりセンター	青少年学習活動推進事業（再掲）	4,048	平成12年	実施回数	回	758	1032	人権の仲間づくりを基軸とした文化・スポーツ・体験等の活動を通して、人との関わり、人となつていくことの大切さを学ぶとともに、自分らしく生きる力や人権感覚などを育みます。	
人権文化部・人権政策室 蛍池人権まちづくりセンター	青少年学習活動推進事業（再掲）	4,535	平成12年	年間参加者数 延べ参加者数(スポーツ活動推進事業) 延べ参加者数(体験活動推進事業)	人 人 人	11000 2500 1500	14239 2795 1695	人権の仲間づくりを基軸とした文化・スポーツ・体験等の活動を通して、人との関わり、人となつていくことの大切さを学ぶとともに、自分らしく生きる力や人権感覚などを育みます。	
教育委員会 教育センター	子どもの居場所づくり(提案公募型委託事業) (再掲)	3,000	平成24年	延べ参加人数	人	4000	5020	地域の子どもや若者が遊び、憩い、学び、つながれる、温かて安心できる居場所の提供	
	図書活動(再掲)	3,121	平成1年	延べ参加人数	人	10000	6943	図書ラウンジを地域に開放し、貸出、自由閲覧、たのしいついでなど、図書に親しむ機会を提供します。	
教育委員会 青少年育成課	若者情報サイト（再掲）	167	平成8年	アクセス件数	件	5500	7888	若者の視点で企画、取材、編集をして、ウェブ上にホームページ「WEB-T'sとよよ」で豊中市内外の地域情報を発信します。	④
	青年の家いぶき主催事業（再掲）	350	昭和58年	いぶき夏休み事業 延べ参加者数 バンド練習・プラネ寄席 延べ利用団体数	人 団体	400 0	957 317	夏休みクラフト教室・平和月間事業・夏季学習室開放事業・鉄道模型走行展示会・青春音楽講座・星空観察会・ファミリーミュージカル 他・プラネ寄席・バンド練習。	
教育委員会 地域教育振興室	とよなか地域子ども教室（再掲）	23,897	平成16年	教室数 地域子ども教室延べ参加者数(大人) 地域子ども教室延べ参加者数(子ども)	カ所 人 人	41 45000 115000	41 49,172 105,206	各小学校区単位で実行委員会を設置し、週1回程度、土日などの休日や放課後に子どもたちが地域の大人と交流しながら、学習やスポーツ、文化活動など地域の特性を活かした取り組みを行います。	
	障害者青年教室（再掲）	1,962	昭和41年	開設教室延べ参加者数	人	6500	6747	障害のある青年に対し、音楽・体育・調理・リズム体操・生花・茶道・陶芸等の学習機会を提供します。	
	地域教育協議会(すこやかネット)（再掲）	4,765	平成12年	協議会数 各地域におけるフェスタ等行事延べ参加者数	中学校区 人	18 24000	18 22,000	市内全中学校区に地域教育協議会を設置し、各校区でフェスタや子育て講演会、学校教育への支援など、学校・家庭・地域のネットワークを深める事業展開を行い、地域教育の活性化を図ります。	
	文化財の保護、活用及び啓発（再掲）	4,680	昭和31年	文化財の公開及び展示の入場者総数 子ども文化財教室等の講座・学習事業への参加者数 登録文化財 指定文化財	人 人 件 件	6000 1900 - -	7115 1034 25 79	これまでに収集した膨大な資料(考古、古文書、民俗資料等)を、收藏環境に配慮しながら適切に保存・管理し、次世代に継承します。また、市内民家に伝わる古文書や民俗資料、それにまつわる伝説・伝承など新たな資料の収集に努めます。さらに展示や出前講座、史跡散策など、市内各学校や施設との連携事業等を通じ、文化財の公開・活用を進めます。	

所管部局・課名称	細事業名称	事業費総額 (千円)	開始時期	指標名	単位	H24年度 目標値	H24年度 実績値	内容	推進プラン の対応箇所
こども未来部 保育幼稚園室	サウンドスクール（再掲）	204	平成19年	サウンドスクール招聘回数	回	7	7	「音楽溢れる学校園づくり」を目的に大阪音楽大学との連携による「生きた演奏支援活動」(出張演奏会)を市立幼稚園において実施します。	②、③
	キッズフェスタ（再掲）	345	平成15年	延べ参加者数	人	2500	2387	親子のふれあいや遊びの場の提供、関係機関と連携し、幼稚園や幼児教育・子育て全般に関わる情報・資料の提供等を通じ子育て支援の充実を図ります。	④
	子育て支援センターほっぺ事業（再掲）	1,917	平成8年	子育て支援センター遊び場利用者数	人	26000	27310	地域の子育て支援拠点施設として、相談、講座の開催、サークルの育成、遊びや交流の場の提供を行い、さまざまな子育て支援をします。	
	地域子育て支援センター事業(保育所費) (再掲)	2,209	平成8年	地域子育て支援センター遊び場利用者数	人	54000	66154	地域の子育て支援拠点施設として市内16か所(てしま幼稚園内含む)において、相談、講座の開催、サークルの育成、遊びや交流の場の提供を行い、さまざまな子育て支援を実施します。	
	幼稚園子育て支援事業（再掲）	346	平成16年	園庭開放 延べ参加者数	人	38000	37518	市立幼稚園において実施する子育て総合支援事「子育て支援講座」「育児相談・就学前相談」「幼稚園の預かり保育」「未就園児の体験入園」「放課後の園庭開放」等を行います。	

## (5) 歴史的文化的遺産の保存等

## ① 伝統芸能や文化財に親しむ機会の充実

所管部局・課名称	細事業名称	事業費総額 (千円)	開始時期	指標名	単位	H24年度 目標値	H24年度 実績値	内容	推進プラン の対応箇所
教育委員会 地域教育振興室	文化財の保護、活用及び啓発（再掲）	4,680	昭和31年	文化財の公開及び展示の入場者総数 子ども文化財教室等の講座・学習事業への参加者数 登録文化財 指定文化財	人 人 件 件	6000 1900 - -	7115 1034 25 79	これまでに収集した膨大な資料(考古、古文書、民俗資料等)を、收藏環境に配慮しながら適切に保存・管理し、次世代に継承します。また、市内民家に伝わる古文書や民俗資料、それにまつわる伝説・伝承など新たな資料の収集に努めます。さらに展示や出前講座、史跡散策など、市内各学校や施設との連携事業等を通じ、文化財の公開・活用を進めます。	
政策企画部 都市活力創造室	魅力創造事業（再掲）	12,490	平成24年	豊中に住み続けたいと感じる市民の割合	%	-	-	豊中の魅力を高める事業の実施など、豊中ブランド創出に関する取組みを展開します。 * (市民協働部からセンター地域経済課から「観光関連事業」を移管し、事業統合。) * ※平成24年度は調査未実施のため、目標値・実績値なし	⑤

## ② まちの再発見

所管部局・課名称	細事業名称	事業費総額 (千円)	開始時期	指標名	単位	H24年度 目標値	H24年度 実績値	内容	推進プラン の対応箇所
人権文化部 文化芸術室	文化芸術振興基本方針の推進（再掲）	14	平成20年	文化芸術振興基本方針に基づく事業数	事業	140	72	文化芸術振興基本方針に基づく施策の進捗状況の把握。	
	豊中市文化芸術推進プランの推進（再掲）	4,776	平成24年	プランに沿って実施された事業数	回	20	24	市内の大学(大阪大学、大阪音楽大学)と開設に向けた取組みを進めている(仮称)文化芸術センターを市の地域資源の中核としつつ、豊中の地域資源を活かした文化芸術振興事業を行います。	①～⑤
市民協働部 千里地域連携センター	コラボ事業（再掲）	3,225	平成21年	連携事業の実施回数 市民事業の実施回数	回 回	20 50	123	情報の受発信や案内、相談、交流の拠点となる「コラボひろば」と「屋上庭園」を活用し、市民との協働や施設間の連携により、事業の企画・実施を行います。 * また、協働事業市民提案制度を活用した「ディスカバー千里」事業を展開中で、千里地区での生活や暮らしのインタビューの記録をまとめたり、同地区初期の写真の収集、同地区への転入者向けの生活情報冊子集「ウェルカムバック」の作成・配布を行ったりしています。	④
教育委員会 読書振興課	地域情報デジタル化事業システムの運用(再掲)	60	平成21年	北摂アーカイブスへのアクセス件数 公開データ件数	件 件	72,000 240	69641 247	図書館が、ICT及び図書館情報システムを活用して地域情報の収集・発信を行うための仕組みを実現し、市民と事業者と行政の協働で事業を行います。「わがまちの記憶を記録に」を理念とし、市民ボランティアが図書館を活動拠点として、地域に眠る写真の収集・整理・デジタル化を行い、図書館のホームページ等を通じて発信します。	④
	地域・市民との協働事業（再掲）	1,452	平成17年	各種団体、地域の活動団体・グループとの共催・協力事業 実施回数 各種団体、地域の活動団体・グループとの共催・協力事業 参加人数	回 人	720 21,000	739 20,427	地域情報を図書館に集め、市民と協働し様々な事業に取組みます。子ども読書活動推進、しょうないREK、北摂アーカイブス等の各事業を行うとともに、音点訳ボランティア、千里文化センター市民運営会議、地域教育協議会等とも連携し事業に取組みます。	④

所管部局・課名称	細事業名称	事業費総額 (千円)	開始時期	指標名	単位	H24年度 目標値	H24年度 実績値	内容	推進プラン の対応箇所
政策企画部 都市活力創造室	魅力創造事業（再掲）	12,490	平成24年	豊中に住み続けたいと感じる市民の割合	%	-	-	豊中の魅力を高める事業の実施など、豊中ブランド創出に関する取組みを展開します。 ・（市民協働部からセンター地域経済課から「観光関連事業」を移管し、事業統合。） ・※平成24年度は調査未実施のため、目標値・実績値なし	⑤

(6)文化芸術に関する交流の推進

①市民交流の支援

所管部局・課名称	細事業名称	事業費総額 (千円)	開始時期	指標名	単位	H24年度 目標値	H24年度 実績値	内容	推進プラン の対応箇所
人権文化部・人権政策室 豊中人権まちづくりセンター	地域交流事業	222	昭和48年	実施回数 参加人数	回 人	15 4000	38 2455	「夏まつり」「高齢者ふれあい・世代間交流事業」「まちづくりフェスタ」「平和月間事業」などを、地域の団体と協働で実施することで、人権尊重に根ざしたまちづくりを推進します。	④
	地域交流活動促進事業	14	平成12年	実施回数	回	402	379	地域の団体や関係機関などと連携しながら、多くの子どもたちや保護者などが参加する交流事業を実施します。また、この取り組みを通して、地域で活動するさまざまな世代の人や団体などとの交流を深め、子どもを取り巻く環境づくりの支援を行います。	④
人権文化部・人権政策室 蛍池人権まちづくりセンター	地域交流事業	2,728	昭和51年	H24実施回数 年間参加者数	回 人	20 5810	21 7662	「納涼祭」「高齢者交流のつどい」「もちつきの日」「平和月間事業」「であいふれあい大賞」などを、地域の団体と協働で実施することで、人権尊重に根ざしたまちづくりを推進します。	④
	地域交流活動促進事業	52	平成12年	延べ参加数(グループ・サークル支援事業) 年間参加者数 H24実施回数(交流活動活性化事業) 延べ参加者数(交流活動活性化事業)	人 人 回 人	600 4000 80 3000	1139 5791 65 4652	地域の団体や関係機関などと連携しながら、多くの子どもたちや保護者などが参加する交流事業を実施します。また、この取り組みを通して、地域で活動するさまざまな世代の人や団体などとの交流を深め、子どもを取り巻く環境づくりの支援を行います。	④
人権文化部 文化芸術室	豊中まつり（再掲）	15,366	昭和43年	ボランティア参加者数	人	1200	1100	市民がつくる市民のまつりを通じ、さまざまな人と文化がふれあうことにより、豊中の文化を市内外に発信します。	④、⑤
	沖縄市兄弟都市交流	293	昭和49年	沖縄市訪問回数	回	1	1	少年サッカーチームの相互訪問、豊中まつりなどにおける兄弟都市交流の支援を行います。	⑤
	サンマテオ市姉妹都市交流	2,810	昭和39年	協会会員数	人	100	124	姉妹都市である米国サンマテオ市との友好を促進するため、市や民間などにおける交流事業などについての連絡調整を行います。また、民間交流をすすめるため、豊中-サンマテオ姉妹都市協会の活動(高校生英語弁論大会開催、親善使節の派遣、少年野球チーム親善交流への協力など)を支援します。	⑤

②多文化共生をめざす交流の支援

所管部局・課名称	細事業名称	事業費総額 (千円)	開始時期	指標名	単位	H24年度 目標値	H24年度 実績値	内容	推進プラン の対応箇所
人権文化部 人権政策室	国際交流センター施設運営管理	44,400	平成5年	利用者満足度(事業)における「大いに満足」「満足」の割合	%	75	92.5	センター事業(国際交流に関する情報の収集及び提供、国際交流活動への住民の参加促進、国際理解推進、在住外国人に対する相談・支援など)について指定管理委託を行い、指定管理業務のモニタリングや指定管理者との協議、連絡、調整を行うことで施設の設置目的を効果的・効率的に達成していきます。	
	国際化施策の推進	5,671	平成12年	国際化施策推進会議開催回数	回	1	2	関係部局での国際化の推進と連携を図るとともに、市民団体による国際交流・協力活動の支援を行います。	
人権文化部・人権政策室 豊中人権まちづくりセンター	生涯学習事業	3,507	昭和48年	実施回数	回	1060	1057	現代的課題講座、識字教室などの開催により地域住民の生涯学習に寄与するとともに、センター登録サークルの育成と支援を図り、人権学習機会の提供を行います。	
人権文化部・人権政策室 蛍池人権まちづくりセンター	生涯学習事業	10	昭和51年	年間参加者数 H24実施回数	人 回	2300 2300	3371 252	現代的課題講座、識字教室などの開催により地域住民の生涯学習に寄与するとともに、センター登録サークルの育成と支援を図り、人権学習機会の提供を行います。	

所管部局・課名称	細事業名称	事業費総額 (千円)	開始時期	指標名	単位	H24年度 目標値	H24年度 実績値	内容	推進プラン の対応箇所
教育委員会 読書振興課	子どもをとりまく読書環境整備の取り組み(再掲)	1,397	昭和20年	児童書の蔵書数 児童書の貸出冊数	冊 冊	330,000 1,100,000	328,732 1,063,263	豊中市子ども読書活動推進計画に基づいて市民、事業者、関係部局、関係機関と連携し、市内のすべての子どもが本と出会い読書を楽しむことができるよう、読書環境を整え、子どもの読書を支える活動を推進します。	
	地域・市民との協働事業(再掲)	1,452	平成17年	各種団体、地域の活動団体・グループとの共催・協力事業 実施回数 各種団体、地域の活動団体・グループとの共催・協力事業 参加人数	回 人	720 21,000	739 20,427	地域情報を図書館に集め、市民と協働し様々な事業に取り組めます。子ども読書活動推進、しようないREK、北摂アーカイブス等の各事業を行うとともに、音点訳ボランティア、千里文化センター市民運営会議、地域教育協議会等とも連携し事業に取り組めます。	④
	豊中市子ども読書活動推進計画の推進(再掲)	240	平成17年	第2期実施計画に基づいた事業実施数	事業	155	158	「豊中市子ども読書活動推進計画」「豊中市子ども読書活動推進計画第2期実施計画」に基づき、図書館が中心となって市と市民が連携し、子どもがあらゆる機会と場所において、自主的に読書ができるよう、様々な事業を実施するとともに、豊中市子ども読書活動推進連絡協議会を設置し、事業の調整や進捗状況の把握など、進捗管理を行います。なお、「第2期計画」は平成23年度よりおおむね5か年の計画となっており、平成26年度には「第2期計画」の事業評価を行い、以後の推進体制や取り組み等についての検討を行います。	

## (7)文化芸術に関する情報の収集及び発信等

## ①情報の受発信の充実

所管部局・課名称	細事業名称	事業費総額 (千円)	開始時期	指標名	単位	H24年度 目標値	H24年度 実績値	内容	推進プラン の対応箇所
人権文化部 文化芸術室	豊中市文化芸術推進プランの推進(再掲)	4,776	平成24年	プランに沿って実施された事業数	回	20	24	市内の大学(大阪大学、大阪音楽大学)と開設に向けた取組みを進めている(仮称)文化芸術センターを市の地域資源の中核としつつ、豊中の地域資源を活かした文化芸術振興事業を行います。	①～⑤
人権文化部・人権政策室 豊中人権まちづくりセンター	情報収集・提供等事業	165	平成12年	発行部数	部	30098	31589	児童館事業などの広報をはじめ、自主的活動を促進する学習情報、人権・教育・子育て・子どもなどに関する情報を収集・発信します。また、人権に関する学習機会の提供を行います。	
	人権情報発信事業	5,686	昭和48年	情報誌配布回数	回	6	6	まちづくり情報紙やセンターだよりの発行、人権パネル展の開催、同和問題をはじめとする人権問題図書の見学や貸出、ホームページや市広報、ケーブルテレビ等を活用した情報発信などを行います。	
人権文化部・人権政策室 蛍池人権まちづくりセンター	情報収集・提供等事業	26	平成12年	発行回数 児童館の年間利用者数	回 人	100 40000	121 41309	児童館事業などの広報をはじめ、自主的活動を促進する学習情報、人権・教育・子育て・子どもなどに関する情報を収集・発信します。また、人権に関する学習機会の提供を行います。	
	人権情報発信事業	184	昭和51年	発行回数	回	50	65	まちづくり情報紙やセンターだよりの発行、人権パネル展の開催、同和問題をはじめとする人権問題図書の見学や貸出、ホームページや市広報、ケーブルテレビ等を活用した情報発信などを行います。	
総務部 情報公開課	情報提供	3,036	平成1年	利用者数	人	2160	3096	情報公開制度の総合窓口として、市政情報コーナーを設置し、市政資料の提供等を行います。審議会等の開催案内を行うとともに、会議開催後に議事録を作成し、市政情報コーナー等で公開します。	
市民協働部 コミュニティ政策室	市民活動情報サロン主催事業(再掲)	5,316	平成24年	情報発信した団体数 情報サロンの利用人数	団体 人	24 4900	30 6046	市民公益活動のための情報発信及び交流の場の提供、市民公益活動の推進に関する情報の収集・提供、相談、講座の開催、啓発の実施などを行います。	④
政策企画部 広報広聴課	広報とよなか等の発行	106,874	昭和26年	テレホンガイド発行部数 広報誌月平均発行部数 市街地図発行部数	部 部 部	17000 187500 0	17000 191383 20000	「広報とよなか」の発行、テレホンガイドの発行、市街地図「とよなかまっぷ」の発行、市政概要の発行、外国人向け市政情報案内チラシの作成、広報誌・テレホンガイドへの広告掲載、市街地図の有料化を行います。	
	パブリシティ(報道機関への情報提供)	427	昭和37年	情報提供数	件	400	416	報道機関へ行政情報や地域情報などの提供を行います。	
	映像情報の提供	50,345	平成8年	視聴可能件数(接続件数)	件	131000	146477	市広報番組「かたらいプラザ」を企画・制作し、ケーブルテレビで放送します。また、同番組と議会中継のウェブ配信を行います。	
	ホームページの管理・運営	2,963	平成8年	ホームページトップページへのアクセス件数(月平均) 総コンテンツ数(月平均)	件 ページ	73000 9000	64878 12987	インターネットを活用した情報発信およびメールによる市民の疑問や意見の収集を行います。また、財源確保の一環としてバナー広告の掲載を行います。	

所管部局・課名称	細事業名称	事業費総額 (千円)	開始時期	指標名	単位	H24年度 目標値	H24年度 実績値	内容	推進プラン の対応箇所
教育委員会 青少年育成課	若者情報サイト（再掲）	167	平成8年	アクセス件数	件	5500	7888	若者の視点で企画、取材、編集をして、ウェブ上にホームページ「WEB-T'sとよとよ」で豊中市内外の地域情報を発信します。	④
教育委員会 読書振興課	自治体間連携事業	1,610	昭和20年	豊中市民が北摂三市二町から広域利用により貸出を受けた冊数 豊中市民が吹田市から広域利用により貸出を受けた冊数	冊数 冊数	— —	32,841 11,312	図書館サービスおよび市民への資料提供を円滑に行うために、他の自治体との連携をすすめます。 豊能地区三市二町の公共図書館において、広域利用を試行し、貸出サービス（予約サービスを除く）を実施します。	
	図書館活動・すべての人への資料提供事業	139,381	昭和20年	H24個人貸出冊数 H24個人登録者数 H24市民一人当たり貸出冊数	冊 人 冊	3,520.00 0 171,000 9.1	3,282.60 4 156,451 8.4	赤ちゃんから高齢者まであらゆる利用者に対し、個人および地域での活動における課題の解決から教養まで、幅広く役立つ資料・情報提供を行います。図書館利用が不便な地域や施設に対しては、動く図書館・図書室や団体貸出サービスを通じて資料提供を行います。	
政策企画部 都市活力創造室	魅力創造事業（再掲）	12,490	平成24年	豊中に住み続けたいと感じる市民の割合	%	—	—	豊中の魅力を高める事業の実施など、豊中ブランド創出に関する取組みを展開します。 （市民協働部くらしセンター地域経済課から「観光関連事業」を移管し、事業統合。） ※平成24年度は調査未実施のため、目標値・実績値なし	⑤

②総合相談・コーディネート機能の充実

所管部局・課名称	細事業名称	事業費総額 (千円)	開始時期	指標名	単位	H24年度 目標値	H24年度 実績値	内容	推進プラン の対応箇所
人権文化部 文化芸術室	文化行政推進事業	14	平成5年	文化行政推進会議開催回数 文化行政連絡会議開催回数 摂津圏文化行政連絡協議会参加回数	回 回 回	2 2 2	1 2 2	文化行政推進会議の運営や広域的な文化行政についての情報交換・研究、後援名義の使用承認、大阪ミュージアムの登録物のPRに伴う事務調整、市の花バラの啓発等を推進します。	

(8) 顕彰

①文化芸術の顕彰の充実

所管部局・課名称	細事業名称	事業費総額 (千円)	開始時期	指標名	単位	H24年度 目標値	H24年度 実績値	内容	推進プラン の対応箇所
教育委員会 教育総務室	教育表彰関係	234	昭和28年	—	—	—	表彰者数 個人：24人 団体：3団体	教育行政に貢献された方や団体の表彰を行います。	
教育委員会 青少年育成課	青少年指導者表彰	80	昭和59年	受賞者数	人	20	12	市内に所在する青少年団体の活動を通じて自己を磨き、団体の発展に努めるとともに、青少年指導者として功績のあった者に、その活動をたたえ、表彰を行います。	